

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

私たち、健康教室「すこやか会」は県立大学の健康づくりによる高齢者の活動をしています。



グラウンドゴルフを楽しむメンバー

普段、県立大学の運動場を借りてグラウンドゴルフをしたり、健康体操の指導や健康に関する講義などを受けたりしています。また、学生さんが研究のために実施する体力テストや実験にモニターとして、積極的に参加しています。

5月に開催されたOPUフォーラムで、私たちが参加した実験の結果が発表されたのを見て、少しは、役

に立てたのかなと思います。

(中島章さん・北溝手)

ときわたんぼは児童クラブでは、夏休み期間中の毎週月曜日はノー弁当デーです。週一回でも保護者を弁当作りから開放してあげ、子どもたちには生活の変化をもたせ、絆を深めてもらおうと、始めたものです。

その日の昼食にと今回は、豚汁や焼きそば、ハンバーグ、カレーライス、ロールサンドに子どもたちは挑戦。「私が洗う」「ぼくが切る」「ねこの手にしないと危ないよ」「おいしい」など、元気な声が部屋中に響きます。「家でも作ってみよう」と、子



ハンバーグを焼く子どもたち

どもたちはおなか満腹、笑顔がいっぱいでした。

(常盤たんぼクラブ指導員)

清音ふるさとふれあいのフェンスと側溝の間の土の部分に「ど根性スイカ」が生えました。



大きくなったスイカ(8月中旬)

実がついた当初は、すぐに枯れてしまうと思いましたが、みるみるうちに大きくなり、最終的には直径20cmぐらいに。テニス後に食べたスイカの種が落ちて芽が出たのか、鳥が種を運んできたのか分かりませんが、このコートで毎朝、ソフトテニスをしているメンバー全員で、大きなのを楽しみに育てました。

(新庄晋さん・清音柿木)

輝いている人

愛のある子育てが、あふれるまちになってほしい

インタビュー
Interview



↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

「子育て王国そうじゃ」ロゴ最優秀賞に選ばれた

矢浦 有理江さん(県大生)

「子育て王国そうじゃ」のシンボルとなるロゴをデザインしたのが、岡山県立大学デザイン学部3年の矢浦有理江さんだ。

ロゴは、19点の応募作品のなかから、最優秀賞に選ばれたもの。「総社らしさが感じられること、小さな子どもから大人まで幅広く愛されることを考えデザインした」と言う。

「総社には、涙でネズミを描いた雪舟の逸話があるので、総社らしさが表現できると思った」。イメージキャラクターは、ネズミをモチーフにした。おむつをはかせ、王冠を載せ、しっぽをハート形にすること、より子育て王国を連想できるようにと工夫を凝らしている。

自身のデザインを見ながら、「全体的には満足しているが、文字については、

もう少しキャラクターにマッチしたものにできればよかったかな」と言う。ロゴには、子どもたちがいつも笑顔でいられるような、愛のある子育てが、あふれるまちになってほしいという思いを込めた。「このロゴが、子育ての役に立てばうれしい」と、喜びいっぱいの笑顔で話す。

将来の夢は、デザイン関係の会社に就職することだそう。大学でも、広告・エディトリアルデザインのコースを選択。新聞広告を作ったり、書籍などの編集をしたりするデザインを学んでいる。

広告や雑誌は、文字とビジュアル(写真や図など)の相乗効果で表現するものという矢浦さん。「読者の視線にたった、読みやすい広告・雑誌を作りたい」と、話す声に力強さを感じた。